

SKY コーナー

2021年度 情報通信エンジニアリング協会 北海道支部 安全大会

情報通信エンジニアリング協会 北海道支部

はじめに

2021年10月21日（木）、「ITEA北海道支部安全大会」をオンラインにより開催しました。

北海道内全60拠点および東京をオンラインで結び、NTT設備グループ各社、つうけんグループ各社等約500名の皆様に参加いただき開催しました。

式次第

1. 開会宣言
2. 大会挨拶
ITEA 北海道支部長 大村 佳久
ITEA 本部 専務理事 小枝 明広
3. 来賓挨拶
NTT東日本 北海道事業部長 阿部 隆様
4. 北海道支部における安全・品質の取組みについて
(株)つうけん 安全品質強化本部長 石原 尚之
5. 安全決意表明
日本コムシス(株)北海道事業所 櫻井 仁史社員
6. 安全スローガン唱和
(株)ミライト 市川 大輔 社員
7. 閉会宣言

大村支部長挨拶

はじめに、オンラインで幾分不便ではあるが、無事に開催できることのお礼とともに、コロナ禍の不自由な環境の中で工事を続けてもらっていることに対するお礼の言葉の後、「北海道における人身・設備事故・交通事故の振り返り」「忘れてはならない事故（2020年9月5日）」「高度無線整備事業の安全対策」「交通事故の削減に向けて」と大きく4点についてお話がありました（写真1）。

【北海道における人身・設備事故・交通事故の振り返り】

人身事故は、北海道外からの支援班で事故が連発しています。冬の慣れない作業になるため指導をお願いしたい。



写真1 大村支部長

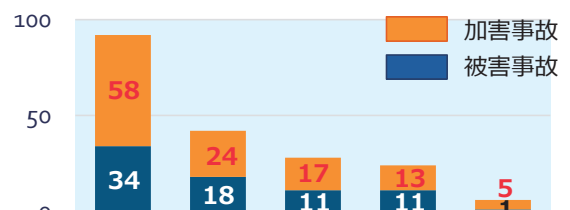
設備事故は、気象条件も大きく変わってきており、これまで想像していなかったような強い風・雨等によるものがあります。今一度従来のやり方が通用するかどうかとも再確認をお願いしたい。

交通事故については、2021年の加害事故の内容を見ると、基本動作の徹底や安全動作の徹底で十分回避可能だったと思われます。

2021年設備事故
(強風により、足場
が傾斜)



交通事故発生状況（北海道内4社）



	2017	2018	2019	2020	2021
事故件数	92	42	28	24	6
加害事故	58	24	17	13	5
発生率	63%	57%	60%	54%	83%

5年間を振り返っても、全国に比べて自慢できる状況ではないと感じていますので、事故防止の徹底をお願いしたい。

【忘れてはならない事故（2020年9月5日）】

2020年9月5日に起きてしまった作業員（加害者）が工事車両（4tトラック）を駐車するため車両をバックさせた際、車両後方にいた交通誘導員（被災者）を巻き込み死亡させた事故がありました。

この事故から立てた再発防止策として交通誘導員なしでバックをしない等の対策を立てましたが、2021年6月、京都において開通工事時に、バケット車をバックした際、専門交通誘導員を誤って轢いてしまった事故が発生しました。決めた「誘導員なしでバックしない」という対策は、本当に守られていたのか。自分たちが決めた対策は確実に実行していかなければなりません。

【高度無線整備事業の安全対策】

高度無線整備事業は、北海道で約1万8000kmの工程量になります。そのために北海道内250名に加えて北海道外から450名を加えて取り組みます。

厳しい冬の経験のない道外支援者の方たちには、元請会社の責務として、「安全教育・指導」の徹底をお願いします。

高度無線事業は、当初計画より完成自治体数は拡大して実施します。作業環境は厳しく、短納期になりますが、厳しい冬の期間において安全の徹底をお願いします。

【交通事故の削減に向けて】

運転スキルの向上や交通安全マインドの醸成、安全装備の装着等、取組みはたくさん実施しています。それでも事故は0にはなりません。

運転する1人ひとりの自覚が何より大切です。

冬季に向かい、会員各社におかれては今まで以上の対策・施策の実施をお願いします。

最後に、「安心・安全は、工事会社としての1丁目1

番地です。事故を起こさない、事故が起きないように皆さんと気持ちを1つにして北海道ALLで頑張っていきたい」という言葉で締めくくられました。

小枝専務理事挨拶

コロナに負けず、リモートで大会を開催できたことへの感謝の意を述べられた後、「7～8年前にNTT東日本北海道事業部の設備部長として皆さんに大変お世話になりましたが、本日は、立場を変えて参加できることを嬉しく思います。」とお言葉をいただきました（写真2）。

【最近の事故について】

作業班のメンバー皆を守る立場にいるはずの班長自ら近道行動をしてしまい、その結果重大事故をおこしてしまっています。NTTの分析によると約半数が班長の近道行動に起因するものということです。

班長が率先して決まりを守り、声をかけ、メンバー全員が声かけ合いしやすい雰囲気を作ることをお願いします。

【全員で基本動作を守り切ること】

過去の事故で検討した再発防止策をしっかりと実践していれば、起きなかった事故もあります。安全とセキュリティ事故は意識レベルが低くなった穴のあるところで発生し、全体に大きな影響をおよぼしてしまいます。

優秀な技術者がTOPをとることより、全員で基本動作を守り切る事は数倍難しいことです。無事故への挑戦は、命を守り切るために何としても成し遂げなければならない鉄則だと思っています。

高度無線関連の工事が急ピッチで進み、作業環境も冬季で厳しくなっていくことと思います。そんな今だからこそ、自分ひとりではなく全員で基本を守り切り、今年度残りの期間を無事故で乗り切っていきましょう。

最後に、準備に奔走した北海道支部の方々への感謝の言葉を改めて頂戴しました。

○ 交通事故の削減に向けて

● 交通事故の削減に向け、各社にて交通事故削減に向けた取り組みを展開中であり、従来からの交通安全教育に加え、運転データに基づく安全運転指導、先進技術を導入した車両の装備化を実施。

人：テクニク・マインド

- 交通安全講習
- 運転適正診断
- 交通シミュレーター
- 交通事故事例の共有
- 冬道運転講習
- セーフティリーダーへの参加
- 安全運転指導（DR/DDデータ活用）

◇ 交通事故件数は減少しているが、個人の運転スキル（技術）による事故が発生している。

- ・確認不足、ながら運転、車線変更遅れなど

◇ 環境変化（冬型のスリップ等）による交通事故も発生している。

車両：装備・先進技術

- ドライブレコーダー等
- バックモニター
- バックブザー
- バック（コーナー）センサー
- 追突防止自動ブレーキ

引き続き、先進技術による装備化の推進と、安全運転指導の強化により交通事故の削減を図っていく。



来賓挨拶 阿部事業部長様

来賓を代表して、NTT東日本 北海道事業部長阿部様よりご挨拶をいただきました（写真3）。

はじめに、2020東京オリンピックでは大きなインシデントもなく、無事閉幕できたことへの御礼の言葉をいただいた後、「NTT東日本の経営状況」「人身事故の発生状況」「高度無線整備事業推進について」「冬期間の安全対策について」の4点についてお話しいただきました。

【NTT東日本の経営状況について】

NTT東日本では10年ぶりの増収増益になりました。光サービスの純増数についても49万回線を達成することができました。今年度も今のところ好調に推移していますが、テレワーク需要の落ち着きなどを考慮し、40万回線の純増を計画しています。

北海道においても、3.8万回線の純増計画に対し、4.1万回線を達成し、受託収入増と合わせて大幅な増収となりました。

日頃よりBO削減等にご尽力いただいた通建会社の皆様のお陰と感じており、心より感謝申し上げます。

【人身事故の発生状況】

NTTグループ全体の人身事故は、年間約60件と高止まりの推移となっています。

今年度上期は36件発生、内2件が死亡事故です。「車両後退時における誘導員配置」「バケット作業時における補助ロープの使用」などの再発防止策が活かされず類似事故の発生となっています。不幸な事故を再び発生させないよう、過去の事例・教訓は他山の石として活かし、事故防止に向けた取り組みをお願いします。

【高度無線環境整備推進事業について】

今年度最大のプロジェクトで、施工現場も山場を迎えています。

工事に関わった多くの皆様が、実際、肌や空気で実感

しているとおり、自治体や住民の皆様が光を待ち望んでいます。オールNTTグループとして総力をあげて工事完遂に取り組み、北海道の課題解決と、よりよい未来を創造していきたいと思っていますので引き続きご協力をお願い致します。

残念ながらここ2カ月で2件の事故が発生しました。

どんなに注意を払っていても、誰もが事故を起こす可能性があること、誰もが巻き込まれる可能性があることをどうぞ皆様1人ひとりの心にとめていただきたい。

【冬期間の安全対策について】

これから北海道は降雪期を迎え、一層厳しい環境となります。

特に高度無線環境整備推進事業では冬季の施工に不慣れな本州からの支援班の方も多々いらっしゃるの、第一線で作業される方、バックヤードで支える皆様方におかれましては、冬季の作業に向けた安全装備を早期にご準備いただき、移動は余裕を持ったスケジュールで計画するなど、冬特有の環境に対応した措置をお願い致します。

【事故の未然防止に向けたお願い】

工事の完成を急ぐあまり近道行動をとることがないよう安全を最優先にお願いします。

また、作業面の安全はもとより、作業員1人ひとりのメンタル面や健康管理、その人の変化や状況を見て、いつもと変わらぬか十分配慮いただき、バックヤードの方々も含め是非皆さんで声をかけることをしていきましょう。

“自分の安全は自分で守る”

“仲間の安全はみんなで守る”を合言葉に北海道オールで事故防止に取り組んでいきましょう。

以上のお話の最後に、阿部事業部長様より

是非皆さん「ご安全に！」

と力強いお声掛けをいただきました。



事故の未然防止に向けたお願い

作業のルール・基本動作をしっかりと理解して頂き、何よりも安全を最優先に作業を実施頂くようお願い致します

- ▶ 現場で重篤な事故につながる行動は何かを予想して、その危険を回避するためにKYを実践する
- ▶ いつもと違う、危険だと感じたら一旦立ち止まり、確認し、必要により事務所へ連絡し相談する

合言葉は、

“自分の安全は自分で守る”

“仲間の安全はみんなで守る”

皆様、「ご安全に！」

北海道における安全・品質の取組みについて

今年度の重要施策である、高度無線整備事業の安全活動をテーマとして、支部を代表し(株)つうけん安全品質強化本部 石原本部長(写真4)より元請会社として実施している「安全な施工」と「安全な環境」の2つの観点

からのさまざまな取組みを、多くの写真を使いわかりやすく紹介しました。

あわせて、「交通事故撲滅に向けた統一施策」の紹介もありました。

この安全大会を契機に今一度、安全作業の基本に立ち返り、ともに「無事故＝北海道」を目指して頑張ります！というメッセージを皆さんにお届けしました。



写真4 石原本部長



新規入場者教育



現場ミーティング



バック誘導状況

～交通事故撲滅に向けた統一施策～

- 冬型事故対策：安全パトロール強化「冬の安全装備点検」実施
- 歩行者としての自分を守る活動 反射材の着用
- 運転者を守る活動 御守り配布

安全決意表明



代表 日本コムシス株式会社
NIT事業本部 ネットワークシステム部
東日本ネットワーク事業部門 北海道事業所
櫻井 仁史

情報通信エンジニアリング協会 北海道支部
二〇二一年十月二十一日

安全決意表明

私たちは、「安全は何よりも優先すること」を念頭に、

一つ、作業環境に合わせたPPEを作業前に必ず行い、作業に見合ったリスク低減対策を実施し、安全作業に努めます。

一つ、各作業において危険を感じたら立ち止まり報告連絡相談を行い危険を排除した上で作業致します。

一つ、高所作業においては保護具の着用・使用を徹底し、適正な墜落・転落防止措置を講じ安全作業に徹します。

一つ、作業手順を遵守し、指差し呼称にて工程ごとの自主点検で高品質の成果物を構築します。

一つ、安全運転を心掛け交通ルールの遵守と交通マナーを守り交通事故防止に努めます。

以上、安全の確保、品質の確保に万全を期し、情報通信インフラの構築に貢献します。

安全スローガン唱和



株式会社ミライト
市川 大輔社員

危険作業
するな させるな 見逃すな
気付いた あなたが 責任者

